

特定非営利活動法人 なごやかサポートみらい  
児童自立生活援助事業 自立援助ホームいっぽ

# いっぽ通信

No.4 2018年3月23日

発行：自立援助ホームいっぽ  
〒480-0305  
愛知県春日井市坂下町5丁目1215-200  
Tel&Fax 0568-93-6306  
E-mail info@ippo-mirai.com  
Web http://ippo-mirai.com  
編集：青木・祖父江



## 初めまして職員の青木です。

近頃は肌寒い風が吹いておりましたが、少しずつ春が近づき、温かさが感じられるようになってきました。いっぽの子たちも「寒い～、さむい！」と言いながら起きることもなくなり、朝の起床も随分と楽になったのではないのでしょうか。

初めまして私は去年の4月に入社した青木佑磨(あおき ゆうま)と申します。私は3年ほど「地域若者サポートステーション」で就職支援の仕事をしておりました。しかし、私自身の力不足を感じ、もっと別の業界で働き、自分を磨くことにしました。そして転職した法人で児童養護施設の学習支援に関わることになりました。日本福祉大学を卒業しておりましたが、私にとっては初めて社会的養護の子たちと接する機会でした。彼らの生きざまを知った時に、「こんなに苦労して生きてきた子たちだからこそ、自分の人生を後悔して生きるのではなく、おれの人生って大変なこともあったけど、楽しいこともあったな。」と思ってほしい。そのために、私もできることをやりたいと思い、自立援助ホームいっぽへ入社させていただきました。

私がこの1年間、子どもたちと一緒にご飯を食べ、学校の試験が近づけば勉強を教え、時には言い合いして、ケンカもして過ごしてきた様子を今後の通信でお伝えさせていただきます。

子どもたちの日常はかなりハードです。月に8万前後の収入を稼いで、(それ以上の収入を得る子もおります。) 学校に行き勉強も頑張ります。

そんな彼らの姿にはどこかすさまじいパワーを感じます。しかし、彼らも一般的な16、17歳の子たちと何も変わらないことに気付かされる瞬間があります。親がいないこと、ずっと施設で暮らしてきたこと等の境遇にモヤモヤと考え込んでいます。時には、「もうどうでもいいんだ。」と投げやりになる瞬間もあっても、それでも“いっぽ” ずつでも前へ前へと歩む姿勢は感心させられます。いつか自分の人生の中にある幸せを感じられる、大人になってほしいですね。

## 子どもたちの様子

いっぽ暦が一番長いK.Sくん。この春、定時制高校2年生に進級です。バイトも穴を開けることなく頑張っており、心も体も順調に成長しています。野球好きな少年ですが、暇を持て余すと事務室に入り浸り、作業中のスタッフの傍らで「ひま～」を連呼。かまってほしくて仕方ありません。



この春から念願の保育専門学校へ進学することになったK.Tくん。バイトで貯めたお金と、いくつかの奨学金を得て一人暮らしを始めます。早起きに自信が無いと、少しでも学校への通学時間を短縮したいと、進学と同時の自立。今までも、ひとつひとつ色々なことをクリアしてきた実績があるので、心配はしていません。



相変わらず生活費が滞納状態にあるS.Yくん。2年遅れですが、高校へ通って青春を謳歌したいと昼間定時を受験。合格はしたものの、現在はバイトも干され、窮地に立たされています。この失敗をチャンスに変えられるかどうか踏ん張りどころ。どんな頑張りを見せてくれるのか期待しています。



昨年11月から仲間になったY.Hくん。一番若手です。K.Sくんと同じ定時制高校へ編入し、この春2年生に進級。新聞配達をしながら頑張っています。朝がなかなか起きられず、午前3時半頃にいっぽの電話が鳴ることもしばしば。生活リズムが整うまで、もう少し時間がかかりそうです。



1月の終わりに仲間入りしたT.Uくん。一生懸命に履歴書を書いた甲斐があり、試用期間中ではありますが、いっぽで唯一の正社員として頑張っています。朝6時には自分で起き、弁当とお茶を詰めて片道1時間ほどかけて自転車通勤しています。いつもテンションが高く賑やか過ぎて、時には「うるさい！」と言われることも。



## いっぽでの行事関係

現在は月に2回の子ども会議を開いていますが、その中で子どもたちから出た提案を基に、2月25日(日)初めてのスポーツ大会を開催することができました。いっぽに来てからはスポーツする機会も減った子どもたちは普段から有り余るエネルギーを十分に発散させてました。動いた後は、みんなで中華料理にて食事です。こうした楽しみがあるからこそ、大変な仕事も頑張れる糧になっているのではないかと思います。



3月18日(日)には、名古屋南地区BBSさんのご招待でスペイン村へ行ってきました。ここの中にあるジェットコースターなどの乗り物はほぼ乗っています(笑)この日は楽しくてしかたなかったのではないのでしょうか?BBSさん、素敵な機会を本当にありがとうございました。



### ～いっぼの子どもたちの夕食づくりを通して思うこと～

時々いっぼの子どもたちの夕食づくりに現場へ出向くことがあります。

子どももスタッフもいつもあたたかく迎えてくれます。

子どもたちの話を聞かせてもらいながら夕食づくりをするわけですが、これがすごく良いんです。子どもたちの素直な気持ちが聞け、気づきや発見に繋がるからです。

聞いてもらった体験が少ない子どもたちにとって自分の言ったことに耳を傾け、共感してくれる大人の存在は非常に大きいなと感じています。夕食づくりを通してそんなことを感じさせてもらっています。

身体の栄養も大切ですが、心の栄養もきちんと大切にしていきたいと思っています。

NPO法人なごやかサポートみらい  
理事長 蛭沢光より



### 現在会員数

個人員：5名  
団体員：2団体  
寄付者：36名  
支出：60,000円

### 平成29年度 会費の使い道について 生活費の補助

平成29年9月頃からK・Sくんが腰椎を痛めて、医師からはバイトを休み、腰の治療に専念することを宣告されました。5ヶ月ほどは働けない日々が続き、給料が入らないのでいっぼの生活費を払うことが困難な状況になりました。

そのため、支援の会から3ヶ月間を限度にひと月1万円の生活費援助を行わせていただきました。

### K・Sくんの感じたこと

このケガにより、K・Sくんは働けないほどの状態になる可能性があることが分かり、貯金の大切さを痛感。少しずつですが、定期預金を始め、お金を貯めようとしています。

### 退所児童への家具・家電購入サポート

平成30年3月末頃、K・Tくんが専門学校に進学するために、一人暮らしをはじめます。支援の会より退所児童への家具・家電購入サポートとして、3万円を贈与し、彼はBRレコーダーを購入しました。



### K・Tくんにメッセージをもらいました

今回はBRレコーダーを買わせていただきました。ありがとうございます。ぼくは学校に行っている時にテレビ番組等を録画して、あとから観たいと思っていました。一人暮らしをはじめた時の楽しみができました。



「自立援助ホームいっぼ」の活動及び入居者(青年)の自立を支援することを目的としています。皆様のご支援をよろしくお願い致します。

### 〇<年会費>

\*個人会員：5,000円  
\*団体会員：10,000円(法人・任意団体など)

〇<納入方法> ゆうちょ銀行 郵便振替  
番号：00800-4-136723

加入者名：自立援助ホーム いっぼ支援の会

〇<ご寄付> 金額に指定はございません。  
上記口座までお振込みをお願いいたします。

### ～寄付金以外のご協力のお願い～

### ◆家具や家電、台所用品や日用品など

一人暮らしには何かと必要な物が多いです。アパートの入居費用だけでも大きな出費がかかる中で、少しでも物品を送ることのできる支援もあります。



### ◆スポーツ大会の実施

いっぼでは子どもたちが身体を動かし、友好を深めるためにスポーツ大会を実施しています。そこで使用するスポーツ用具も募集しています。次は野球大会を企画中のため、グローブ、ボール、バットなどがお家で眠っておりませんか?



### ◆夕食作りボランティアさん

夕食を作って下さるボランティアさんを募集しています。豪華な食事ではなく、温かみのある家庭料理を作って、子どもたちと関わって下さらないでしょうか?月に1回、週に1回など頻度はご相談に応じます。お気軽にご連絡ください。

ご協力くださる方はいっぼまで、ご連絡ください。物品寄付及びボランティア担当:青木・川添まで(TEL:0568-93-6306)

### 最後に

自立援助ホームいっぼに支援の会の会員の皆様、様々なかたちで支援をして下さるご協力者の皆さまへ。

いっぼも無事に新年度を迎えることができました。今年の9月には2年を迎えようとしております。まだ子どもたちに社会で生きていくために必要なことを教えられたのか、いっぼで暮らせて良かったと思うようにできたのかと、自問自答しつつ、支援を見直す日々です。

職員自身も常に成長し、子どもたちの成長に答えていけるように努めていきます。これからもご声援のほどよろしくお願い致します。

